

III 研究活動

1 研究活動概要

本学では、教育研究上の特徴として「デザイン学部と看護学部の連携」ならびに「幅広いネットワーク」を掲げている。また、教育研究上の目的として「学術研究の高度化等に対応した職業人の育成」ならびに「産業・文化の振興、まちづくりや、市民の健康保持・増進への貢献により大きな価値を生み出す『知と創造』の拠点形成」を掲げている。

平成22年度は、この特徴と目的を念頭に置き、デザイン学部教員34名、看護学部教員42名、計76名が研究活動を行った。

2 個人研究費による研究一覧

デザイン学部

| 教員名 | 研究課題 |
|-------|--|
| 原田 昭 | ・札幌市立大学の国際関係事業の展開と、地域連携事業の展開 |
| 酒井 正幸 | ・ユニバーサルデザイン研究 ・動物園のランドデザイン研究 |
| 城間 祥之 | ・3D CAD・CAGD によるRapid Prototyping 向き形状モデリングに関する研究 |
| 中原 宏 | ・市街地の形成と形態に関する研究 |
| 石崎 友紀 | ・工学的性能と審美的性能の均衡 ・地域様式デザイン製品開発 ・道具学探究 |
| 上遠野 敏 | ・現代美術創作研究 ・同時代の美術研究 ・日本の美意識の研究 |
| 齋藤 利明 | ・オールビスクによる創作人形制作研究と人形を主体とした空間演出 |
| 杉 哲夫 | ・プロダクトデザイン事例研究およびデザイン開発 |
| 武邑 光裕 | ・ソーシャルメディア環境における創造産業（Creative Industries）の諸可能性に関する研究 |
| 羽深 久夫 | ・北海道における歴史的建造物の保存・再生・活用 ・米国・東欧・北欧における木造建築の保存・再生・活用 ・日本および世界における医療施設・福祉施設の調査 ・世界の高等教育機関における建築教育調査と相互交流 |
| 原 俊彦 | ・ドイツと日本における無子の増加に関する研究 ・超少子高齢化・人口減少社会に対応した社会保障システムのデザイン ・日本の長期出生動向に関する分析 |
| 望月 澄人 | ・CGアニメーションの制作 |
| 矢部 和夫 | ・都市および自然生態系における生物多様性の保全と再生に関する研究 |
| 吉田 和夫 | ・組織活性化におけるVI（ビジュアル・アイデンティティ）の役割とその生成について |
| 吉田 恵介 | ・地域景観資源評価手法の開発と景観デザイン |
| 武田 亘明 | ・ICTを活用したメディア教育の研究 1) 情報を読み解く力の育成教育に関する研究 2) 手書き入力・自動採点システムによる放課後自学自習用電子教材の開発 |
| 張 浦華 | ・形態と感性評価の相関要因に関する研究 |

| 教員名 | 研究課題 |
|------------|---|
| 細谷 多聞 | ・環境情報の電子化とその活用に関する研究 |
| 町田 佳世子 | ・言語・非言語刺激によるポジティブ感情の喚起とその効果 ・動物園における飼育体験の心理的效果とその要因の解析 |
| ライト デーヴィッド | ・未来学・創造産業学に基づく日本の未来研究 |
| 石田 勝也 | ・映像メディアによる空間の構成とその効果についての研究 |
| 大淵 一博 | ・デザイン学習者向け教材の開発と教育効果側定に関する研究 |
| 柿山 浩一郎 | ・製品・サービス発想における、リアルタイム集団アイデア発想システムの運用 |
| 小宮 加裕子 | ・個々の障害・能力に対応したユニバーサルなインタフェースの検討 |
| 斉藤 雅也 | ・建築の環境負荷低減と住まい手の環境感覚向上に関する基礎的研究 |
| 那須 聖 | ・建築形式の備える規範性についての考察 |
| 福田 大年 | ・コンテンツデザインにおける情報デザインの有効性についての研究 |
| 松井 美穂 | ・モダニズム期におけるアメリカ南部女性文学 |
| 三谷 篤史 | ・レーザ駆動振動子の最適化に関する研究 |
| 山田 良 | ・環境芸術の空間構造に関する研究 |
| 上田 裕文 | ・風景イメージを用いた参加型観光まちづくりの手法に関する研究 |
| 片山 めぐみ | ・高齢者福祉施設の「縁側サービス」を核とした地域づくりの展望 |
| 須之内 元洋 | ・CGMイベント情報サービス「SAPPORO COLOR」空間メディア展開について |
| 長谷川 聡 | ・札幌ブランドの創出/送出 |

看護学部

| 教員名 | 研究課題 |
|-----------|---|
| 中村 恵子 | ・成人看護学領域における看護技術獲得とその検証 |
| スーディ神前 和代 | ・IT活用による遠隔看護サービス（E-KANGO）のモデルの試験的運用 ・沖家室島在住高齢者の転倒に関するフォローアップ調査 ・夕張市における在宅ケア従事者の継続教育システム構築 |
| 山本 勝則 | ・看護における他者理解 |
| 宮崎 みち子 | ・胎児の生きる権利に関する研究 ・看護倫理に関する研究 ・助産学OSCEに関する研究 |
| 加藤 登紀子 | ・女性管理職の昇格における影響要因と昇格後の活動の変化に関する研究 |
| 内田 雅子 | ・慢性期看護における対象理解について ・事例研究法について |
| 河野 總子 | ・ナースステーションにおける看護作業環境の改善に向けた基礎的研究 ・看護職の組織コミットメントと職務満足調査－看護管理者が副院長である施設と看護部長の施設の比較検討－ ・看護師の働き方－周辺業務担当の様相－ ・大学教員との連携を体験した看護師が捉える大学看護教員の持つべき臨床実践能力 |
| 坂倉 恵美子 | ・特別豪雪地帯に居住する高齢者の主観的幸福感に関する研究－人生の振り返りについて分析－ |
| 定廣 和香子 | ・看護学実習における医療事故防止に向けた教授活動 |
| 樋之津 淳子 | ・OSCEによる1～4年次の基礎看護技術の到達度評価について |
| 松浦 和代 | ・小児・母性看護学領域で活用する感性教材モデルの開発と有用性の検討 |
| 大野 夏代 | ・指圧・マッサージ、OSCEなど看護技術及び技術教育に関する研究 ・国際看護の実践と課題の整理 |

| 教員名 | 研究課題 |
|--------|--|
| 清水 光子 | ・保健師の家庭訪問によるケアマネジメント |
| 須田 恭子 | ・大学と臨地実習施設の連携による臨床能力の向上：臨地実習施設における模擬患者参加型研修の試行への支援 |
| 守村 洋 | ・メンタルヘルスに関する研究（主として精神障害セルフヘルプ・グループへの地域生活支援および自殺予防に関する研究） |
| 吉川 由希子 | ・広域医療圏に居住する障害児の在宅ケアに関する研究 |
| 菊地 ひろみ | ・在宅看護サービスの質評価に関する基礎的研究 |
| 菅原 美樹 | ・救急・クリティカルケア領域に従事する看護師の職業的体験の意味に関する研究 |
| 杉田 久子 | ・クリティカルケア看護師のexpertiseの探究 ・臨床看護実践における知の構築プロセスの研究 |
| 田中 広美 | ・看護技術に関する研究 |
| 新納 美美 | ・精神保健活動と犯罪予防活動の連携に関する研究 |
| 藤井 瑞恵 | ・循環器疾患等の生活習慣病予防に関する疫学的研究 |
| 星 美和子 | ・Self-Transcendence 概念とその関連要因について |
| 村松 真澄 | ・事業所に働く労働者の口腔保健に関する実態調査 |
| 保田 玲子 | ・住民活動と地域のソーシャルキャピタルとの関連 |
| 山内 まゆみ | ・助産師基礎教育の「職業準備性」を高める教育技法の検証 ・看護系大学を卒業した看護職の卒後のキャリアに関する実態調査 ・医療系の学生における「生涯学習能力」と「職業準備性」の実態調査 ・「学士課程の助産選択学生における「職業準備行動」とその関連要因」 |
| 山本 真由美 | ・産科一人医師体制施設における助産師の認識 ・産科一人医師体制施設における助産師と看護師の認識の比較 ・北海道一若い街千歳市における施設と地域の連携についての分析 |
| 渡邊 由加利 | ・助産領域におけるOSCE課題とその評価 ・周産期におけるリラクゼーションの方法の検討 |
| 太田 晴美 | ・アクションリサーチ（SSM）による看護師教育支援-災害看護への動機づけ- |
| 神島 滋子 | ・脳損傷患者の高次脳機能評価に関する研究 |
| 河村 奈美子 | ・発達段階各期における精神保健と看護 |
| 櫻井 繭子 | ・支援専門職に関する研究 |
| 進藤 ゆかり | ・痛みを抱えた高齢者や積雪寒冷地域に居住する高齢者の健康生活に関する研究 ・老年看護教育に関する研究 |
| 多賀 昌江 | ・周産期医療のグリーンケアを支援するデザイン研究：妊娠22週未満の死産児を安置するための専用棺の開発 |
| 照井 レナ | ・在宅ケア従事者が連携して行うMulti-discipline型、かつ計画と評価に関わる自己主導型学習活動システムの構築 ・IT活用による遠隔看護サービス（E-KANGO）研究 |
| 原井 美佳 | ・寒冷地で居住してきた女性高齢者の尿失禁のリスク要因解明と尿失禁への対処行動促進に関する研究 |
| 淵本 雅昭 | ・クリティカルな状況にある意識障害患者の意識回復に向けた実証的研究 |
| 松村 寛子 | ・保健師の育児支援に関する研究 |
| 三上 智子 | ・脊椎動物の自然免疫Toll様受容体における分子進化 |
| 工藤 京子 | ・呼吸器疾患患者会の会報誌の意義と役割 |
| 鶴木 恭子 | ・重曹使用による清拭が皮膚表面に与える影響 |
| 檜山 明子 | ・一般病棟における転倒予防の看護業務に関する研究 |

I 概要

II 教育活動

III 研究活動

IV 社会活動

V キャリア支援活動

VI 入学者選抜結果

VII 附属図書館

VIII 役員会、経営審議会及び教育研究審議会

IX 学内運営の概要

X 資料

XI 教員業績一覧